令和7年度入試（令和6年度実施）の資料を掲載しています。
令和8年度入試（令和7年度実施）の資料は、7月下旬に公表予定です。

国立大学法人

上越教育大学 学校教育学部
入学者選抜要項 2025

目　次

1　入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー） …… 1
2　募集人員 …… 2
3　入学者選抜方法 …… 2
4　出願資格 …… 2
5　大学入学共通テストの受験を要する教科・科目 …… 4
6　一般選抜 …… 6
7　学校推薦型選抜 …… 8
8　受験上又は修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談 …… 10
9　学生募集要項の発表 …… 10
10　学生募集要項等の入手方法 …… 10
11　出願方法 …… 12
12-1　令和７年度上越教育大学入学者選抜方法等
（一般選抜、専門学科・総合学科卒業生選抜、総合型選抜） …… 13
12-2　令和７年度上越教育大学入学者選抜方法等（特別選抜） …… 14
13　令和７年度上越教育大学入学者選抜の実施教科・科目等について …… 15
14　令和７年度特別選抜方法等（学校推薦型選抜） …… 17

入試関係日程一覧

入試方法	出願期間	試験日	合格者の発表
学校推薦型選抜	令和６年12月２日(月)～12月９日(月)	令和７年１月29日(水)	令和７年２月12日(水)
一般選抜（前期日程）	令和７年１月27日(月)～２月５日(水)	令和７年２月25日(火)～２月26日(水)	令和７年３月７日(金)
一般選抜（後期日程）		令和７年３月12日(水)	令和７年３月22日(土)

インターネット出願について

本学の入学試験の出願方法は、「インターネット出願」です。
「紙出願」（募集要項に添付の入学志願票等に直接記入する方法）は行っておりません。
インターネット出願の詳細は、令和７年度学生募集要項に掲載しますので、ご覧ください。

令和7年度上越教育大学入学者選抜要項

1　入学者受入れの方針（アドミッション･ポリシー）

上越教育大学では、「上越教育大学学校教育学部における卒業認定・学位授与、教育課程編成・実施及び入学者受入れの方針」を策定し、公表しています。

以下に、教育の理念・目的、学校教育学部の目標、入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）を示します。

１　教育の理念・目的

上越教育大学（以下「本学」という。）は、本学大学憲章に基づき、子供の未来を切り開くことのできる確かな実践力を備え、我が国の教育を担う中核的・指導的な教員の養成を目指している。

教員という職業は、豊かな人間性に支えられた専門職である。その専門性には、子供たちの学習と生活を支援でき、そして人類の築き上げた文化を全体として理解・把握する、つまり様々な学問分野の考え方を整理・統合し、人間の文化的営みを理解できる総合的な資質・能力が求められている。

そのため、本学では、「21世紀を生き抜くための能力（基礎力・思考力・実践力）」を身につけ、「人間力（優れた人格・豊かな感性・未来創造力）」を備え、さらに「教育実践力（豊かな教養・高度な専門的知識・優れた教育技術・使命感・創造力・人間愛）」及び「学び続ける力」を有する教員を養成する。

２　学校教育学部の目標

主として初等教育教員の養成に関する社会的要請に応えるべく、深い人間理解と豊かな学識及び優れた教育技術を備えた教員を養成する。

そのため、教員としての使命感や責任感を育むとともに、社会性や対人関係の力、子供を理解し学級を運営する力、人文科学・社会科学・自然科学・芸術・スポーツについてのバランスのとれた専門的能力とその指導力など、教員に必要な基本的資質と実践的な能力を養成する。

３　入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

(1) 本学では、以下に掲げる学生を求めている。

ア　高等学校等における基礎的な知識・技能を十分に修得している。**【知識・技能】**

イ　物事を多面的かつ論理的に考察することができ、自分の考えを適切な方法で表現し、他者に伝えることができる。**【思考力、判断力、表現力】**

ウ　生活や社会、環境の中に問題を見出し、多様な人々と関わりながら、積極的に学修を進めていくことができる。**【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】**

エ　教員を目指す強い意志を持ち、自分らしい生き方を教職との関係において追究し、人格及び感性を高めていこうとする態度を備えている。**【人間力】**

(2) 以上の受入れの方針に基づいて、本学では、一般選抜（前期日程・後期日程）と学校推薦型選抜の三つの方法により、学力の３要素等を多面的・総合的に評価し、入学者を選抜する。

選抜区分	選抜方法	学力の３要素等			
		知識・技能	思考力判断力表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	人間力
一般選抜（前期日程）	大学入学共通テスト	○	○		
	小論文		○		
	実技検査（音楽・美術・体育から選択）	○			
	集団面接			○	○
	調査書			○	
一般選抜（後期日程）	大学入学共通テスト	○	○		
	個別面接			○	○
	調査書			○	

学校推薦型選抜	大学入学共通テスト	○	○		
	個別面接			○	○
	推薦書	○	○	○	
	自己推薦書			○	○
	調査書			○	

○：主な評価項目

※卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）と**教育課程編成・実施の方針**（カリキュラム・ポリシー）は、本学ホームページ（https://www.juen.ac.jp/050about/010info/policy/R04faculty.html）をご覧ください。

2　募集人員

学　　部	課　　程	入学定員	募集人員		備　　考
学校教育学部	初等教育教員養成課程	160人	前期日程	77人	
			後期日程	33人	
			学校推薦型選抜	50人	

（注）２年次から、本人の希望と１年次の成績に基づいて、次のいずれかのコースに所属することになります。

学校教育専修（160人）

学校教育コース、教科教育・教科複合コース、幼年教育コース、心理臨床コース

3　入学者選抜方法

入学者の選抜は、次の方法により行います。

① 一般選抜（前期日程、後期日程）

② 学校推薦型選抜

4　出願資格

（1） 一般選抜

次のいずれかに該当し、かつ、令和７年度大学入学共通テスト（６教科８科目又は７教科８科目）を受験した者です。

① 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和７年３月卒業見込みの者

② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和７年３月修了見込みの者

③ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者若しくは令和７年３月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

④ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者又は令和７年３月31日までに修了見込みの者

⑤ 専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は令和７年３月修了見込みの者

⑥ 文部科学大臣の指定した者（昭和23年文部省告示第47号）

⑦ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第１号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第２条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）

⑧ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの又は令和７年３月31日までに18歳に達するもの

【上記出願資格⑧により出願する場合は、事前に審査を行う必要があります。詳細については、本学のホームページ（https://www.juen.ac.jp/）でご確認ください。】

（２） 学校推薦型選抜

次のいずれかに該当し、かつ、令和７年度大学入学共通テスト（６教科８科目又は７教科８科目）を受験する者です。

① 高等学校若しくは中等教育学校を令和５年４月から令和６年３月までに卒業した者又は令和７年３月卒業見込みの者(学校教育法施行規則第93条第３項及び第103条第１項等の規定に基づき、令和６年度の学年の途中において高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は卒業見込みの者を含む。)

② 高等専門学校第３学年を令和５年４月から令和６年３月までに修了した者又は令和７年３月修了見込みの者

③ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和５年４月から令和６年３月までに修了した者又は令和７年３月31日までに修了見込みの者

5　大学入学共通テストの受験を要する教科･科目

一般選抜及び学校推薦型選抜に出願する者は、次に掲げる令和７年度大学入学共通テストの６教科８科目又は７教科８科目の受験を要します。

教　科	科目名及び利用科目の選択方法		
国　語	『国語』		１科目
地理歴史 公　民	『地理総合，地理探究』 『歴史総合，日本史探究』 『歴史総合，世界史探究』 『地理総合／歴史総合／公共』(注1) 『公共，倫理』 『公共，政治・経済』	から１又は２科目(注2)	計３科目(注4)(注6)
理　科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』(注3) 『物理』 『化学』 『生物』 『地学』	から１又は２科目(注5)	
数　学	『数学Ⅰ，数学A』、『数学Ⅰ』から１科目 『数学Ⅱ，数学B，数学C』(注7)		計２科目
外 国 語	『英語』(注8)		１科目
情　報	『情報Ⅰ』		１科目

※『 』は大学入学共通テストにおける出題科目を表し、「 」は高等学校学習指導要領上設定されている科目を表す

(注1) 『地理総合／歴史総合／公共』は「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の３つの出題範囲から２つを選択解答してください。

(注2) 公民から２科目を選択する場合においては、『公共，倫理』と『公共，政治・経済』の組合せを選択することはできません。

また、『地理総合／歴史総合／公共』で選択解答した出題範囲と同一名称を含む科目の組合せを選択することはできません。

(注3) 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の４つの出題範囲から２つを選択解答してください。

(注4) 理科から１科目を選択する場合は、地理歴史・公民から２科目を、理科から２科目を選択する場合は、地理歴史・公民から１科目を選択してください。

(注5) 理科から『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を含む２科目を選択する場合は、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』において選択解答する出題範囲と同一名称を付した科目（「物理基礎」と『物理』、「化学基礎」と『化学』、「生物基礎」と『生物』、「地学基礎」と『地学』）の組合せを選択することはできません。ただし、地理歴史・公民で２科目を選択する場合は、この限りではありません。

この場合における本学の成績利用方法は、（注6）２．のとおりです。

(注6) 地理歴史・公民から２科目を受験し、理科から２科目を受験した場合は、理科の科目選択方法に応じて、次の３科目の成績を用います。

１．理科から『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を含む２科目を選択した場合に、一方の科目で『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』において選択解答した出題範囲と異なる名称を付した出題科目を受験した場合。

ア 地理歴史・公民の第１解答科目
イ 理科の第１解答科目
ウ 地理歴史・公民の第２解答科目又は理科の第２解答科目のどちらか高得点の科目

２．理科から『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を含む２科目を選択した場合に、一方の科目で『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』において選択解答した出題範囲と同一名称を付した出題科目を受験した場合。

ア 地理歴史・公民の第１解答科目
イ 地理歴史・公民の第２解答科目
ウ 理科の第１解答科目又は第２解答科目のどちらか高得点の科目

３．理科において、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から２科目の出題科目を受験した場合は、上記１の利用方法に準じます。

（注7）数学の科目において、『数学Ⅱ，数学Ｂ，数学Ｃ』の出題範囲のうち、「数学Ｂ」及び「数学Ｃ」は、「数学Ｂ」の２項目の内容（数列、統計的な推測）及び「数学Ｃ」の２項目の内容（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面）のうち３項目の内容の問題を選択してください。
（注8）外国語の『英語』については、リーディング及びリスニングを課します。なお、大学入試センターにおいてリスニングを免除された者については、リーディングのみを課します。

◆　旧教育課程履修者等に対する経過措置

一般選抜及び学校推薦型選抜に出願する者で、大学入学共通テストの利用教科・科目についての旧教育課程履修者等に対する経過措置は、次のとおりです。

地理歴史、公民、数学及び情報の４教科に関しては、令和７年度大学入学共通テストの受験者は、新学習指導要領に基づく教科・科目の内容による試験を受験するのが原則ですが、旧教育課程履修者等のうち希望する者に対しては、次表に掲げる選択も可能とします。

教　科	科　目　の　選　択　方　法
地理歴史 公　民	『旧世界史Ａ』、『旧世界史Ｂ』、『旧日本史Ａ』、『旧日本史Ｂ』、『旧地理Ａ』、『旧地理Ｂ』、『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治･経済』、『旧倫理,旧政治･経済』から１又は２科目（※1）
数 学 ①	『旧数学Ⅰ』、『旧数学Ⅰ・旧数学Ａ』から１科目（※2）
数 学 ②	『旧数学Ⅱ』、『旧数学Ⅱ・旧数学Ｂ』、『旧簿記・会計』、『旧情報関係基礎』 から１科目（※3）
情　報	『旧情報』（※4）

（※1）次のア、イのいずれかを選択してください。
ア　新教育課程による出題科目の６科目のうちから１科目又は２科目を選択してください。
イ　経過措置科目の10科目のうちから１科目又は２科目選択してください。
ただし、地理歴史においては、同一名称のＡ・Ｂ出題科目、公民においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
なお、旧教育課程履修者等は、新教育課程による出題科目と経過措置科目を組み合わせて選択することはできません。
（※2）新教育課程による出題科目と経過措置科目を合わせた４科目のうちから１科目を選択してください。
（※3）新教育課程による出題科目と経過措置科目を合わせた５科目のうちから１科目を選択してください。
（※4）新教育課程による出題科目と経過措置科目を合わせた２科目のうちから１科目を選択してください。
『旧情報』の出題範囲は、平成21年告示学習指導要領の「社会と情報」及び「情報の科学」の内容とします。

令和７年度大学入学共通テストにおける新教育課程履修者と旧教育課程履修者等の定義

新教育課程履修	① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）に令和４年４月に入学し、新教育課程を履修、令和７年３月卒業見込みの者 ② 中等教育学校の後期課程に令和４年４月に進級し、新教育課程を履修、令和７年３月卒業見込の者
旧教育課程履修等	上記以外の者 ※ 高等学校等卒業者、高等学校卒業程度認定試験合格者又は合格者見込者、大学入学資格検定合格者、高等専門学校第３学年修了者又は修了見込者、高等専修学校（文部科学大臣に指定された高等専修学校に限る。）修了者又は修了見込者、外国の学校等修了者又は修了見込者、在外教育施設修了者又は修了見込者、及び高等学校等を令和７年３月卒業見込みであるが、入学は令和４年３月以前の者など、上記に該当しない者

＊　「新教育課程」とは、令和４年４月１日から適用された高等学校学習指導要領（平成30年３月30日文部科学省告示第68号）に基づく教育課程をいいます。

6　一般選抜

（1）　前期日程

＜選抜方法＞

①　大学入学共通テスト（６教科８科目又は７教科８科目）及び実技検査等の成績並びに面接の評価結果を総合して、入学者を選抜します。

②　実技検査等は、次によるものとします。

ア　小論文

「思考力、判断力、表現力」を評価するため、小論文を課します。

【思考力、判断力、表現力】

物事を多面的かつ論理的に考察することができ、自分の考えを適切な方法で表現し、他者に伝えることができる。

イ　実技検査

「知識・技能」を評価するため、実技検査（音楽・美術・体育のうちから１科目を選択）を課します。

【知識・技能】

高等学校等における基礎的な知識・技能を十分に修得している。

音楽…音楽表現の基礎的能力と適性をみます。

美術…造形表現の基礎的能力と適性をみます。

体育…運動の基礎的能力と適性をみます。

③　面接では、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」と「人間力」を評価するため、集団面接試験を行います。

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】

生活や社会、環境の中に問題を見出し、多様な人々と関わりながら、積極的に学修を進めていくことができる。

【人間力】

教員を目指す強い意志を持ち、自分らしい生き方を教職との関係において追究し、人格及び感性を高めていこうとする態度を備えている。

④　面接は、次によるものとします。

ア　面接形式は、受験者５人程度の集団面接とします。

イ　面接は、３人の面接担当者で行います。

ウ　個別質問、プレゼンテーション、集団討論を行います。

エ　面接は、調査書の内容を参考資料としながら総合的に評価します。

⑤　大学入学共通テストと実技検査等の配点比率は、５：１とします。

配点内訳は、次のとおりです。なお、地理歴史、公民及び理科の配点は、合計300点とします。

大学入学共通テスト								実技検査等			面接
国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語(英語)	情報	計	小論文	実技	計	
200	100又は200		100 又は200	200	200	100	1000	100	100	200	段階評価とする

（注１）外国語の英語については、リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計点（200点満点）とします。

（注２）リスニングを免除された者については、リーディングの得点（100点満点）を200点満点に換算したものを英語の得点とします。

⑥　実技検査等は、令和７年２月25日(火)に行い、面接は、令和７年２月26日(水)に行います。

（２） 後期日程

＜選抜方法＞

① 大学入学共通テスト（６教科８科目又は７教科８科目）の成績及び面接の評価結果を総合して、入学者を選抜します。

② 面接では、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」と「人間力」を評価するため、主に教職への強い関心・意欲と人間性を高めようとする意志に関して質問する個別面接試験を行います。

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】

生活や社会、環境の中に問題を見出し、多様な人々と関わりながら、積極的に学修を進めていくことができる。

【人間力】

教員を目指す強い意志を持ち、自分らしい生き方を教職との関係において追究し、人格及び感性を高めていこうとする態度を備えている。

③ 面接は、次によるものとします。

ア 面接形式は、個別面接とします。

イ 面接は、３人の面接担当者で行います。

ウ 面接は、調査書の内容を参考資料としながら総合的に評価します。

④ 大学入学共通テストの配点内訳と面接の評価は、次のとおりです。

なお、地理歴史、公民及び理科の配点は、合計300点とします。

<table>
<tr><td colspan="8">大 学 入 学 共 通 テ ス ト</td><td rowspan="2">面　接</td></tr>
<tr><td>国 語</td><td colspan="2">地理歴史</td><td colspan="2">公 民</td><td>理 科</td><td>数 学</td><td>外国語
(英語)</td><td>情 報</td><td>計</td></tr>
<tr><td>200</td><td colspan="3">100又は200</td><td colspan="2">100
又は200</td><td>200</td><td>200</td><td>100</td><td>1000</td><td>段階評価とする</td></tr>
</table>

（注１）外国語の英語については、リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計点（200点満点）とします。

（注２）リスニングを免除された者については、リーディングの得点（100点満点）を200点満点に換算したものを英語の得点とします。

⑤ 面接は、令和７年３月12日（水）に行います。

7　学校推薦型選抜

＜推薦要件＞

令和５年４月から令和６年３月までに高等学校等を卒業（修了）又は令和７年３月高等学校等を卒業（修了）見込みの者（「4 出願資格」参照）で、次の①から③までのすべてに該当し、かつ、合格した場合は、必ず本学に入学することを確約できる者です。

なお、各出身学校長が推薦できる人数の制限はありません。

① 出身学校長が、初等教育教員になるためにふさわしい意欲、資質、能力、適性等を有する者として、責任をもって推薦する者

② 令和７年度大学入学共通テスト（６教科８科目又は７教科８科目）を受験する者

③ 調査書の全体の学習成績の状況が3．5以上の者

（注） 上記の推薦要件に該当しない者については、出願書類を受理しません。

＜選抜方法＞

① 出身学校長の推薦に基づき、面接及び令和７年度大学入学共通テスト（６教科８科目又は７教科８科目）の成績により、入学者を選抜します。

② 面接では、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」と「人間力」を評価するため、高等学校等の段階での経験・活動実績を踏まえて総合的に質問します。

また、推薦書では「知識・技能」と「思考力、判断力、表現力」及び「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を、自己推薦書では「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」と「人間力」を評価します。

【知識・技能】

高等学校等における基礎的な知識・技能を十分に修得している。

【思考力、判断力、表現力】

物事を多面的かつ論理的に考察することができ、自分の考えを適切な方法で表現し、他者に伝えることができる。

【主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度】

生活や社会、環境の中に問題を見出し、多様な人々と関わりながら、積極的に学修を進めていくことができる。

【人間力】

教員を目指す強い意志を持ち、自分らしい生き方を教職との関係において追究し、人格及び感性を高めていこうとする態度を備えている。

③ 面接は、次によるものとします。

ア 面接形式は、個別面接とします。

イ 面接は、３人の面接担当者で行います。

ウ 面接は、推薦書、自己推薦書の内容に加え、調査書の内容を参考資料としながら総合的に評価します。

④ 大学入学共通テストと面接の配点比率は、10：３とします。

配点内訳は、次のとおりです。なお、地理歴史、公民及び理科の配点は、合計300点とします。

大学入学共通テスト								面接
国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語（英語）	情報	計	
200	100又は200		100 又は200	200	200	100	1000	300

（注１）外国語の英語については、リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計点（200点満点）とします。

（注２）リスニングを免除された者については、リーディングの得点（100点満点）を200点満点に換算したものを英語の得点とします。

⑤　面接の成績が配点の50％未満の場合には、合格者としません。

⑥　面接は、令和７年１月29日(水)に行います。

＜その他＞

学校推薦型選抜に出願する者は、本学の一般選抜にも出願することができます。

8　受験上又は修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、障害等があることにより、受験上又は修学上の配慮を必要とする場合は、次の期日までに本学に必ず申し出てください。

※　受験上の配慮は必要としない場合でも、修学上の配慮を必要とする者は、必ず申し出てください。
※　障害者手帳を交付されている者も事前にご相談ください。
※　期日以降に発生した不慮の事故等により、受験上又は修学上の配慮を必要とする場合は、速やかに本学入試課まで連絡してください。

○ 学校推薦型選抜 … 令和６年11月１日(金)まで
○ 一般選抜　　… 令和６年11月22日(金)まで

9　学生募集要項の発表

一般選抜及び学校推薦型選抜についての出願期間、試験日程、試験場、出願手続、その他入学者選抜に必要な詳細事項は、**令和６年11月上旬（予定）**に「**学生募集要項**」により発表します。

10　学生募集要項等の入手方法

（１）学生募集要項（PDF版）は、本学ホームページから閲覧・ダウンロードできます。（PDF版も冊子体も同じ内容です。）
大学案内は、本学ホームページでご覧いただけます。
なお、学生募集要項（入学志願票等は含みません。）又は大学案内の冊子体を希望する場合は、次の(2)、(3)、(4)のいずれかで請求してください。

（２）テレメールで請求する
①下記のいずれかの方法でテレメールにアクセスしてください。

上越教育大学のホームページから	https://www.juen.ac.jp/ の「資料請求」からアクセス	
テレメールのホームページから	https://telemail.jp	

②請求を希望する資料請求番号（６桁）を入力してください。

資料名	資料請求番号	料金 (送料含む)	発送開始日
大学案内	**562702**	180円	随時発送中
学生募集要項	**582702**	180円	11月上旬
学生募集要項 ＋ 大学案内	**542702**	215円	11月上旬

③あとはガイダンスに従ってください。

※注　・資料は通常、発送日からおおむね３～５日後でお届けできます。ただし、土日や祝日の配達はありません。
また、地域や郵便事情によってはお届けに１週間程かかる場合があります。
なお、16時までの受付は当日発送、16時以降の受付は翌日発送となります。
・発送開始日以前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日に一斉に発送します。
・随時発送の資料が1週間以上（予約受付の資料は発送開始日から1週間以上）経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。
・資料請求終了時および受付確認メール内で告知される10桁の「受付番号」は、資料到着まで保管しておいてください。
・料金のお支払いは資料到着後の後払いです。お届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上、資料到着後２週間以内に表示料金をお支払いください。
なお、支払い手数料が別途必要です（コンビニ払い及びスマホアプリの請求書支払い（LINE Pay、au PAY）は118円。携帯キャリア払い、PayPay及びクレジットカード払いは30円。）。
また、複数資料の料金をまとめて支払うこともできます。

■テレメールでの請求方法についてのお問い合わせは
テレメールカスタマーセンター
電話 050-8601-0102（9:30～18:00）まで

（３）モバっちょで請求する

①下記のいずれかの方法でモバっちょにアクセスしてください。

上越教育大学のホームページから	https://www.juen.ac.jp/ の「資料請求」からアクセス	
モバっちょのホームページから	https://djc-mb.jp/juen/	

②料金は以下のとおりです。（※料金は変更となる場合があります。）

資料名	料金 （送料含む）	発送開始日
大学案内	250円	随時発送中
学生募集要項	250円	11月上旬
学生募集要項 ＋ 大学案内	350円	11月上旬

※注　・お支払い時、資料毎に支払い手数料が必要です。（携帯・スマホ払い、クレジットカード決済は50円、コンビニ後払いは126円）
・土日や祝日の配達はありません。

■モバっちょでの請求方法についてのお問い合わせは
大学情報センター株式会社　モバっちょカスタマーセンター
電話 050-3540-5005（平日10:00～18:00）まで

（４）　本学への直接請求
直接来学されるか、上越教育大学入試課 電話025-521-3294（平日9:00～17:00（夏季一斉休業（８月13日から８月15日まで）及び年末年始（12月28日から１月３日まで）を除く。））でお問い合わせください。
直接来学される場合は、本学入試課で配布しています。
郵送での受け取りを希望する場合は、別途着払い料金が発生します。

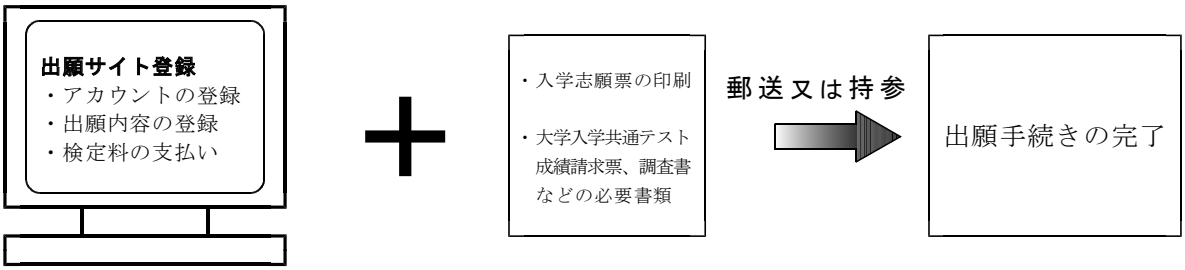
11　出願方法

本学の入学試験の出願方法は、**「インターネット出願」**です。
「紙出願」（募集要項に添付の入学志願票等に直接記入する方法）は行っておりません。
インターネット出願では、学生募集要項（冊子体）の取り寄せが不要（PDFで公開します）となり、Web入力に際してエラーチェック機能により願書の記入誤りが防げます。また、検定料の支払方法としてコンビニエンスストアやクレジットカード等の利用が可能です。

ご利用にあたってはメールアドレス・パソコン（インターネット接続済）・プリンター（Ａ４出力）が必要です。
インターネット出願において、必要事項の登録及び検定料の支払いを行っただけでは出願手続完了ではありません。**出願に必要な書類を郵送する必要があります。**出願書類の提出期限（必着）をよく確認し、郵送に要する日数を考慮したうえで期限に間に合うよう手続きしてください。

なお、事情によりインターネットを利用することができない方は、本学入試課へご連絡ください。

＜インターネット出願の流れ＞



出願前に必要書類の事前準備をお願いします。（調査書等）

・大学入学共通テスト成績請求票
・調査書
・顔写真データ（JPEGのみ 100KB以上３MBまで）
・推薦書（学校推薦型選抜のみ）
・自己推薦書（学校推薦型選抜のみ）

①　インターネット出願サイトへアクセス

本学入試情報ホームページ
→ https://www.juen.ac.jp/060admissions/020faculty/index.html　にある、
「インターネット出願」のバナーからアクセス。

※　「インターネット出願登録期間」以外は出願登録はできません。

②　出願期間

	インターネット出願登録期間 及び検定料支払期間	出願書類提出期限
学校推薦型選抜	令和６年12月２日(月)10時から 令和６年12月９日(月)15時まで	令和６年12月９日(月)17時まで
一般選抜 （前期日程 後期日程）	令和７年１月27日(月)10時から 令和７年２月５日(水)15時まで	令和７年２月５日(水)17時まで

詳細については、学生募集要項（11月上旬発表予定、本学ホームページに掲載）でご確認ください。

12－1 令和7年度上越教育大学入学者選抜方法等

（一般選抜、専門学科･総合学科卒業生選抜、総合型選抜）

選抜方法等 ＼ 学部・学科名		一般選抜							専門学科・総合学科卒業生選抜						総合型選抜	一般選抜の日程	備考（欠員の補充の方法等）
			実技検査等				2段階選抜			実技検査等							
		個別学力検査を課する	実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングを課する	主として、調査書の内容と大学入学共通テストの成績により第1段階選抜を行い、その合格者について更に必要な検査等を行う	第1段階の選抜による合格者数 定員に対する倍率	第1段階の選抜による合格者数 その他	個別学力検査を課する	実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングを課する	募集人員			
学校教育学部・初等教育教員養成課程	前期日程	×	○（注）	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	令和7年2月25日（火）～2月26日（水）	入学定員に欠員が生じた場合には、追加合格を行う。
	後期日程	×	×	○	×	×											令和7年3月12日（水）	

（注） 前期日程の実技検査は、音楽、美術、体育のうちから１科目を選択してください。

12−2 令和7年度上越教育大学入学者選抜方法等(特別選抜)

選抜方法等 / 学部・学科名	学校推薦型選抜								私費外国人留学生の入試	帰国生徒選抜・社会人選抜			その他の入試	備考
	入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、学力検査を免除し推薦書、自己推薦書、調査書（参考資料とする）を主な資料として判定する							学校推薦型選抜募集人員						
	個別学力検査を免除し、大学入学共通テストを課する	個別学力検査及び大学入学共通テストを免除する	実技検査等							帰国生徒	中国引揚者等生徒	社会人		
			実技検査を課する	面接を行う	小論文を課する	外国語におけるリスニングを課する	その他							
学校教育学部・初等教育教員養成課程	○	×	×	○	×	×	×	50人	×	×	×	×	×	

13 令和7年度上越教育大学入学者選抜の実施教科・科目等について

学部・学科等名及び入学定員等（令和６年度志願倍率）	学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名 教科	科目名及び利用科目の選択方法		個別学力検査等 教科等	科目名等	2段階選抜	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等 試験の区分	国語	地理歴史	公民	理科	数学	外国語（英語）	情報	小論文	実技検査	面接	配点合計	特別の選抜方法等
学校教育学部 初等教育教員養成課程 前　期 77 後　期 33 その他 50 ［４．０］	前期 ２月25日 ～ ２月26日	国語	『国語』	１科目	その他	小論文 実技検査（音楽、美術、体育から１） 面接		共通テスト	200	＊100又は＊200		＊100又は＊200	200	200	100				1000	学校推薦型選抜 追加合格
		地理歴史 公民	『地理総合，地理探究』『歴史総合，日本史探究』 『歴史総合，世界史探究』 『地理総合／歴史総合／公共』(注1) 『公共，倫理』『公共，政治・経済』	から１又は２科目(注2)				個別学力検査等								100	100	◎	200	
		理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』(注3) 『物理』『化学』『生物』『地学』	から１又は２科目(注5)				計	200	＊100又は＊200		＊100又は＊200	200	200	100	100	100		1200	
				計３科目(注4)(注6)																
	後期 ３月12日	数学	『数学Ⅰ，数学Ａ』、『数学Ⅰ』から１科目 『数学Ⅱ，数学Ｂ，数学Ｃ』(注7)	計２科目	その他	面接		共通テスト	200	＊100又は＊200		＊100又は＊200	200	200	100				1000	
		外国語	『英語』(注8)	１科目				個別学力検査等										◎		
		情報	『情報Ⅰ』	１科目				計	200	＊100又は＊200		＊100又は＊200	200	200	100				1000	

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

※『 』は大学入学共通テストにおける出題科目を表し、「 」は高等学校学習指導要領上設定されている科目を表す。

（注1）『地理総合／歴史総合／公共』は「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の３つの出題範囲から２つを選択解答してください。

（注2）公民から２科目を選択する場合においては、『公共，倫理』と『公共，政治・経済』の組合せを選択することはできません。
また、『地理総合／歴史総合／公共』で選択解答した出題範囲と同一名称を含む科目の組合せを選択することはできません。

（注3）『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の４つの出題範囲から２つを選択解答してください。

（注4）理科から１科目を選択する場合は、地理歴史・公民から２科目を、理科から２科目を選択する場合は、地理歴史・公民から１科目を選択してください。

（注5）理科から『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を含む２科目を選択する場合は、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』において選択解答する出題範囲と同一名称を付した科目（「物理基礎」と『物理』、「化学基礎」と『化学』、「生物基礎」と『生物』、「地学基礎」と『地学』）の組合せを選択することはできません。ただし、地理歴史・公民で２科目を選択する場合は、この限りではありません。
この場合における本学の成績利用方法は、（注6）２．のとおりです。

（注6）地理歴史・公民から２科目を受験し、理科から２科目を受験した場合は、理科の科目選択方法に応じて、次の３科目の成績を用います。
１．理科から『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を含む２科目を選択した場合に、一方の科目で『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』において選択解答した出題範囲と異なる名称を付した出題科目を受験した場合。
ア 地理歴史・公民の第１解答科目
イ 理科の第１解答科目
ウ 地理歴史・公民の第２解答科目又は理科の第２解答科目のどちらか高得点の科目
２．理科から『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を含む２科目を選択した場合に、一方の科目で『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』において選択解答した出題範囲と同一名称を付した出題科目を受験した場合。
ア 地理歴史・公民の第１解答科目
イ 地理歴史・公民の第２解答科目
ウ 理科の第１解答科目又は第２解答科目のどちらか高得点の科目
３．理科において、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から２科目の出題科目を受験した場合は、上記１の利用方法に準じます。

（注7）数学の科目において、『数学Ⅱ，数学Ｂ，数学Ｃ』の出題範囲のうち、「数学Ｂ」及び「数学Ｃ」は、「数学Ｂ」の２項目の内容（数列、統計的な推測）及び「数学Ｃ」の２項目の内容（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面）のうち３項目の内容の問題を選択してください。

（注8）外国語の『英語』については、リーディング及びリスニングを課します。なお、大学入試センターにおいてリスニングを免除された者については、リーディングのみを課します。

◆ 旧教育課程履修者等に対する経過措置

一般選抜及び学校推薦型選抜に出願する者で、大学入学共通テストの利用教科・科目についての旧教育課程履修者等に対する経過措置は、次のとおりです。
地理歴史、公民、数学及び情報の４教科に関しては、令和７年度大学入学共通テストの受験者は、新学習指導要領に基づく教科・科目の内容による試験を受験するのが原則ですが、旧教育課程履修者等のうち希望する者に対しては、次表に掲げる選択も可能とします。

教　　科	科 目 の 選 択 方 法
地理歴史	『旧世界史Ａ』、『旧世界史Ｂ』、『旧日本史Ａ』、『旧日本史Ｂ』、『旧地理Ａ』、『旧地理Ｂ』、
公　　民	『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治･経済』、『旧倫理,旧政治･経済』から１又は２科目（※1）
数 学 ①	『旧数学Ⅰ』、『旧数学Ⅰ・旧数学Ａ』から１科目（※2）
数 学 ②	『旧数学Ⅱ』、『旧数学Ⅱ・旧数学Ｂ』、『旧簿記・会計』、『旧情報関係基礎』から１科目（※3）
情　　報	『旧情報』（※4）

（※1）次のア、イのいずれかを選択してください。
　ア　新教育課程による出題科目の６科目のうちから１科目又は２科目を選択してください。
　イ　経過措置科目の10科目のうちから１科目又は２科目選択してください。
　　ただし、地理歴史においては、同一名称のＡ・Ｂ出題科目、公民においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
　　なお、旧教育課程履修者等は、新教育課程による出題科目と経過措置科目を組み合わせて選択することはできません。
（※2）新教育課程による出題科目と経過措置科目を合わせた４科目のうちから１科目を選択してください。
（※3）新教育課程による出題科目と経過措置科目を合わせた５科目のうちから１科目を選択してください。
（※4）新教育課程による出題科目と経過措置科目を合わせた２科目のうちから１科目を選択してください。
　『旧情報』の出題範囲は、平成21年告示学習指導要領の「社会と情報」及び「情報の科学」の内容とします。

令和７年度大学入学共通テストにおける新教育課程履修者と旧教育課程履修者等の定義

新教育課程履修	① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）に令和４年４月に入学し、新教育課程を履修、令和７年３月卒業見込みの者 ② 中等教育学校の後期課程に令和４年４月に進級し、新教育課程を履修、令和７年３月卒業見込の者
旧教育課程履修等	上記以外の者 ※ 高等学校等卒業者、高等学校卒業程度認定試験合格者又は合格者見込者、大学入学資格検定合格者、高等専門学校第３学年修了者又は修了見込者、高等専修学校（文部科学大臣に指定された高等専修学校に限る。）修了者又は修了見込者、外国の学校等修了者又は修了見込者、在外教育施設修了者又は修了見込者、及び高等学校等を令和７年３月卒業見込みであるが、入学は令和４年３月以前の者など、上記に該当しない者

＊「新教育課程」とは、令和４年４月１日から適用された高等学校学習指導要領（平成30年３月30日文部科学省告示第68号）に基づく教育課程をいいます。

【個別学力検査等】欄
　前期日程の実技検査は、音楽、美術、体育のうちから１科目を選択してください。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄
　①配点に＊印を付してある教科は、選択教科を表します。
　②地理歴史、公民及び理科の配点は、合計300点とします。
　③外国語の英語については、リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計点（200点満点）とします。
　④リスニングを免除された者については、リーディングの得点（100点満点）を200点満点に換算したものを英語の得点とします。
　⑤前期日程及び後期日程における個別学力検査等の面接（◎）は、段階評価とします。

14 令和7年度特別選抜方法等（学校推薦型選抜）

上越教育大学

実施学部・学科名	学校教育学部　初等教育教員養成課程
募　集　人　員	５０人
出　願　要　件	令和５年４月から令和６年３月までに高等学校等を卒業（修了）又は令和７年３月高等学校等を卒業（修了）見込みの者（「４ 出願資格」参照）で、次の①から③までのすべてに該当し、かつ、合格した場合は、必ず本学に入学することを確約できる者です。なお、各出身学校長が推薦できる人数の制限はありません。 ① 出身学校長が、初等教育教員になるためにふさわしい意欲、資質、能力、適性等を有する者として、責任をもって推薦する者 ② 令和７年度大学入学共通テスト（６教科８科目又は７教科８科目）を受験する者 ③ 調査書の全体の学習成績の状況が3．5以上の者

大学入学共通テストで受験を要する教科・科目

教　科	科目名及び利用科目の選択方法		
国　語	『国語』		１科目
地理歴史 公　民	『地理総合，地理探究』『歴史総合，日本史探究』 『歴史総合，世界史探究』『地理総合／歴史総合／公共』(注1) 『公共，倫理』『公共，政治・経済』	から１又は２科目 (注2)	計３科目 (注4)(注6)
理　科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』(注3) 『物理』『化学』『生物』『地学』	から１又は２科目 (注5)	
数　学	『数学Ⅰ，数学A』、『数学Ⅰ』から１科目 『数学Ⅱ，数学B，数学C』(注7)		計２科目
外 国 語	『英語』(注8)		１科目
情　報	『情報Ⅰ』		１科目

※『 』は大学入学共通テストにおける出題科目を表し、「 」は高等学校学習指導要領上設定されている科目を表す。

(注1) 『地理総合／歴史総合／公共』は「地理総合」、「歴史総合」、「公共」の３つの出題範囲から２つを選択解答してください。

(注2) 公民から２科目を選択する場合においては、『公共，倫理』と『公共，政治・経済』の組合せを選択することはできません。
また、『地理総合／歴史総合／公共』で選択解答した出題範囲と同一名称を含む科目の組合せを選択することはできません。

(注3) 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の４つの出題範囲から２つを選択解答してください。

(注4) 理科から１科目を選択する場合は、地理歴史・公民から２科目を、理科から２科目を選択する場合は、地理歴史・公民から１科目を選択してください。

(注5) 理科から『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を含む２科目を選択する場合は、『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』において選択解答する出題範囲と同一名称を付した科目（「物理基礎」と『物理』、「化学基礎」と『化学』、「生物基礎」と『生物』、「地学基礎」と『地学』）の組合せを選択することはできません。ただし、地理歴史・公民で２科目を選択する場合は、この限りではありません。
この場合における本学の成績利用方法は、(注6) ２．のとおりです。

(注6) 地理歴史・公民から２科目を受験し、理科から２科目を受験した場合は、理科の科目選択方法に応じて、次の３科目の成績を用います。
１．理科から『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を含む２科目を選択した場合に、一方の科目で『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』において選択解答した出題範囲と異なる名称を付した出題科目を受験した場合。
ア 地理歴史・公民の第１解答科目
イ 理科の第１解答科目
ウ 地理歴史・公民の第２解答科目又は理科の第２解答科目のどちらか高得点の科目
２．理科から『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』を含む２科目を選択した場合に、一方の科目で『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』において選択解答した出題範囲と同一名称を付した出題科目を受験した場合。
ア 地理歴史・公民の第１解答科目
イ 地理歴史・公民の第２解答科目
ウ 理科の第１解答科目又は第２解答科目のどちらか高得点の科目
３．理科において、『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から２科目の出題科目を受験した場合は、上記１の利用方法に準じます。

(注7) 数学の科目において、『数学Ⅱ，数学B，数学C』の出題範囲のうち、「数学B」及び「数学C」は、「数学B」の２項目の内容（数列、統計的な推測）及び「数学C」の２項目の内容（ベクトル、平面上の曲線と複素数平面）のうち３項目の内容の問題を選択してください。

(注8) 外国語の『英語』については、リーディング及びリスニングを課します。なお、大学入試センターにおいてリスニングを免除された者については、リーディングのみを課します。

◆ 旧教育課程履修者等に対する経過措置

一般選抜及び学校推薦型選抜に出願する者で、大学入学共通テストの利用教科・科目についての旧教育課程履修者等に対する経過措置は、次のとおり。

地理歴史、公民、数学及び情報の４教科に関しては、令和７年度大学入学共通テストの受験者は、新学習指導要領に基づく教科・科目の内容による試験を受験するのが原則だが、旧教育課程履修者等のうち希望する者に対しては、次表に掲げる選択も可能とする。

教　科	科　目　の　選　択　方　法
地理歴史	『旧世界史A』、『旧世界史B』、『旧日本史A』、『旧日本史B』、『旧地理A』、『旧地理B』、
公　民	『旧現代社会』、『旧倫理』、『旧政治･経済』、『旧倫理,旧政治･経済』から１又は２科目(※1)
数 学 ①	『旧数学Ⅰ』、『旧数学Ⅰ・旧数学A』から１科目(※2)
数 学 ②	『旧数学Ⅱ』、『旧数学Ⅱ・旧数学B』、『旧簿記・会計』、『旧情報関係基礎』から１科目(※3)
情　報	『旧情報』(※4)

(※1) 次のア、イのいずれかを選択すること。
ア 新教育課程による出題科目の６科目のうちから１科目又は２科目を選択すること。
イ 経過措置科目の10科目のうちから１科目又は２科目選択すること。
ただし、地理歴史においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできない。
なお、旧教育課程履修者等は、新教育課程による出題科目と経過措置科目を組み合わせて選択することはできない。

(※2) 新教育課程による出題科目と経過措置科目を合わせた４科目のうちから１科目を選択すること。

(※3) 新教育課程による出題科目と経過措置科目を合わせた５科目のうちから１科目を選択すること。

(※4) 新教育課程による出題科目と経過措置科目を合わせた２科目のうちから１科目を選択すること。
『旧情報』の出題範囲は、平成21年告示学習指導要領の「社会と情報」及び「情報の科学」の内容とする。

<table>
<tr><td>出　願　要　件</td><td>
令和７年度大学入学共通テストにおける新教育課程履修者と旧教育課程履修者等の定義
<table>
<tr><td>旧教育課程履修</td><td>① 高等学校（特別支援学校の高等部を含む。以下同じ。）に令和４年４月に入学し、新教育課程を履修、令和７年３月卒業見込みの者
② 中等教育学校の後期課程に令和４年４月に進級し、新教育課程を履修、令和７年３月卒業見込の者上記以外の者</td></tr>
<tr><td>新教育課程履修等</td><td>上記以外の者
※ 高等学校等卒業者、高等学校卒業程度認定試験合格者又は合格者見込者、大学入学資格検定合格者、高等専門学校第３学年修了者又は修了見込者、高等専修学校（文部科学大臣に指定された高等専修学校に限る。）修了者又は修了見込者、外国の学校等修了者又は修了見込者、在外教育施設修了者又は修了見込者、及び高等学校等を令和７年３月卒業見込みであるが、入学は令和４年３月以前の者など、上記に該当しない者</td></tr>
</table>
＊「新教育課程」とは、令和４年４月１日から適用された高等学校学習指導要領（平成30年３月30日文部科学省告示第68号）に基づく教育課程をいいます。
</td></tr>
<tr><td>選　抜　方　法　等</td><td>
(1) 出身学校長の推薦に基づき、面接及び大学入学共通テスト（６教科８科目又は７教科８科目）の成績により、入学者を選抜します。
(2) 面接では、特に「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」と「人間力」を評価するため、高等学校等の段階での経験・活動実績を踏まえて総合的に質問します。
　また、推薦書では「知識・技能」と「思考力、判断力、表現力」及び「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」を、自己推薦書では「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」と「人間力」を評価します。
(3) 面接は、次によるものとします。
　ア　面接形式は、個別面接とします。
　イ　面接は、３人の面接担当者で行います。
　ウ　面接は、推薦書、自己推薦書の内容に加え、調査書の内容を参考資料としながら総合的に評価します。
(4) 大学入学共通テストと面接の配点比率は、10：３とします。
　配点内訳は、次のとおりです。地理歴史、公民及び理科の配点は、合計300点とします。
<table>
<tr><td colspan="8">大　学　入　学　共　通　テ　ス　ト</td><td rowspan="2">面　接</td></tr>
<tr><td>国　語</td><td colspan="2">地理歴史</td><td>公　民</td><td>理　科</td><td>数　学</td><td>外国語
(英語)</td><td>情　報</td><td>計</td></tr>
<tr><td>200</td><td colspan="2">100又は200</td><td></td><td>100
又は200</td><td>200</td><td>200</td><td>100</td><td>1000</td><td>300</td></tr>
</table>
（注１）外国語の英語については、リーディング（100点満点）とリスニング（100点満点）の合計点（200点満点）とします。
（注２）リスニングを免除された者については、リーディングの得点（100点満点）を200点満点に換算したものを英語の得点とします。
(5) 面接の成績が配点の50％未満の場合には、合格者としません。
</td></tr>
<tr><td>出　願　期　間</td><td>令和６年12月２日(月) ～ 令和６年12月９日(月)</td></tr>
<tr><td>入　試　期　日</td><td>令和７年１月29日(水)</td></tr>
<tr><td>合　格　発　表　日</td><td>令和７年２月12日(水)</td></tr>
<tr><td>そ　の　他</td><td>学校推薦型選抜に出願する者は、本学の一般選抜にも出願することができます。</td></tr>
</table>

国立大学法人
上越教育大学
Joetsu University of EducatioN

2025
入学者選抜要項

令和６年７月発行

編集発行■上越教育大学入試課

〒９４３－８５１２　新潟県上越市山屋敷町１番地

tel.０２５－５２１－３２９４

https://www.juen.ac.jp/

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。